



かわい子

小中一貫型
小野市立
河合小学校
令和8年2月臨時号



—他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成— 「強く 正しく 温かく」

令和7年度 学校評価の結果

保護者の皆様には、この一年間、本校教育に多くのご協力、ご支援をいただき深く感謝申し上げます。昨年末に実施しました保護者、児童、教職員による学校評価アンケートをもとに、今年度の教育活動について自己評価及び学校関係者評価を行い、今後の取り組みの方向性について下記のようにご報告させていただきます。

アンケート結果の見方について

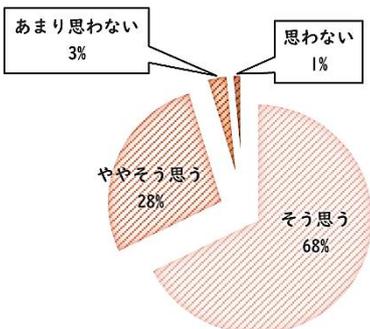
アンケートは1～5年生の保護者と児童を対象とし、各質問内容について、「A=そう思う」、「B=ややそう思う」、「C=あまり思わない」、「D=思わない」、の選択方式で実施しました。分析は「A・B」を肯定的な評価と捉え、類似する質問ごとに総括し、主だった内容について取りまとめています。

1 学校生活の満足度

学校生活の満足度について、全体的に肯定的な思いをもっている児童の割合が高いことが分かります。また、学習への取り組みや理解についても、児童、保護者共に高い評価を得ています。今後も、少人数指導や複数指導、中学校教員や担任相互交換による教科担任制指導、ICT機器の効果的な活用により、児童が「わかる、できる」を実感する授業を発達段階に合わせて実施していきます。また、小中教員による合同研修等による授業研究・授業改善をすすめ、児童が主体的に学ぶ力の育成にも努めます。

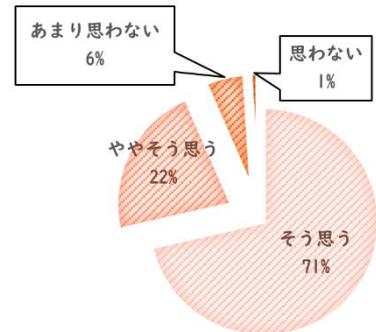
学校行事について、小中合同体育祭や小中特交流の日では企画段階から児童生徒が連携して教職員とともに内容について話し合い、児童生徒が主体的にすすめる場面を多く取り入れ、自己有用感や自己肯定感が得られるように工夫をして

【問15】私は、学校行事（合同体育祭、ふれあい講座、音楽祭、マラソン大会など）を通して、成長している。（児童）

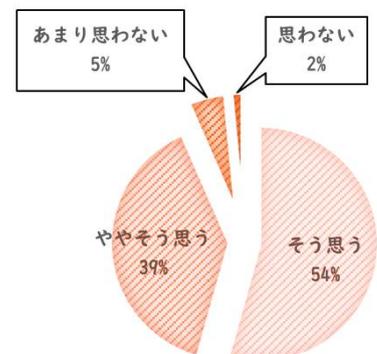


きました。1年を通して1～9年生の縦割り班でペアを作って活動する取組を始めて3年目ですが、年々深い関わり合いができ、互いに刺激し合って良い交流ができています。児童生徒と小中教職員が一体となって創りあげる行事になっていると感じています。音楽祭やマラソン大会では、練習を通して、仲間と共に協力し合い、高め合う経験をしました。そ

【問1】私は、学校や学級で楽しく過ごしている。（児童）



【問8】私は、学校の授業（勉強）がよく分かる。（児童）



れが、児童の達成感や満足度につながっていると考えます。今後も学校行事が児童生徒一人ひとりの成長の場となるよう魅力ある学校行事を児童生徒と教職員が共に計画実施していきます。

2 家族とのかかわり・相談 連携

おおむね児童は困ったことがあれば、家族に相談し、ご家庭では、食事中的会話等を通して、子どもたちを十分見守っておられる様子が伺えます。ただ、思うように家族に相談ができず、満足できるかかわりをさらに求めている児童がいることも伺えます。また、高学年になると家族より友だちに相談することが少しずつ増えてくるようです。学校でも児童のSOSのサインを受け止め、不安や困り感に寄り添い、丁寧に関わっていきます。各家庭へも連絡帳や通信にて話題提供し、学校とご家庭の連携を密にするよう努めます。

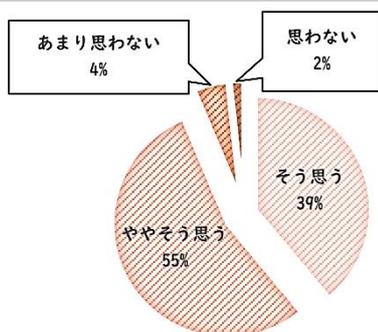
昨年度から取り組んでいる「読書・ノーゲーム・お手伝い・コミュニケーションの日」についても肯定的な評価をいただいています。本が好きな子ども、友だちと仲よく遊べる子ども、自分の思いをうまく伝えられる子どもを、ご家庭と協力しながら育ててまいります。

お子さまのことで気になることがございましたら、関係機関等、専門の相談もごございます。いつでもご連絡ください。

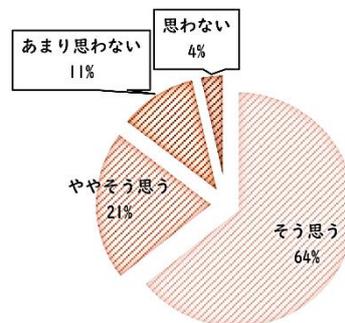
3 人権教育 自尊感情 仲間づくり

小中の合同行事や活動を通して、違いを認め合い、支え合う姿が見られます。1学期には全校生で「自分や友だち、周りの人の良いところを見つけよう」というミッションに取り組み、終業式でたくさんの良いところを報告してくれました。多くの児童の自尊感情や思いやりの心が育っています。今後も「自分ではできないのしい！」と実感できる学びを積極的に取り入れ、安心して活躍できる場をさらに増やしていきます。

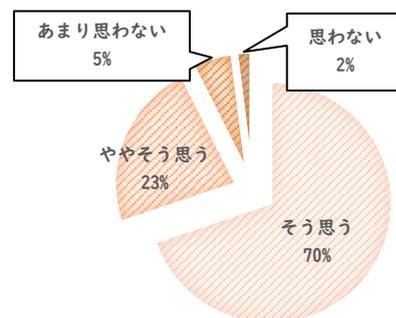
【問11】学校は、道徳の授業や人権学習を通して、いじめを許さない心や生命を尊重する教育活動を進めている。(保護者)



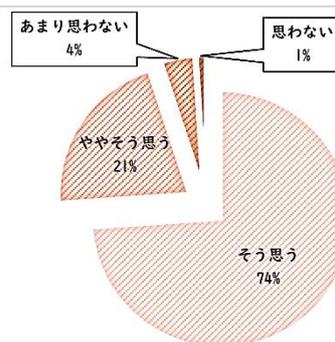
【問5】私は、困ったことがあれば、家の人に相談するようにしている。(児童)



【問10】昨年度から取り組んでいる「読書・ノーゲーム・お手伝い・コミュニケーションの日」はよいと思う。(保護者)



【問12】私は、友だちにやさしくしたり、みんなと仲よく遊んだりしている。(児童)



よりよい自分の姿や仲間同士高め合う姿をめざして取り組んでいきたいと思えます。

今年度本校では人権教育と学校安全を関連付けて、学校全体で「安心・安全」「命」について深く考える一年としてきました。子どもたちが「自分の命は自分で守る」「自分にできることを考える」ことを自分事としてとらえられるように様々な取組を行い、心を育てています。

また、今年度も小中で道徳教育に力を入れ、教職員の研修

も多数行ってきました。児童の道徳性を高めるための道徳授業や日常生活の中での道徳的実践力を育む指導や関わりを大切にしています。言葉遣いやあいさつにまだまだ課題が見られますが、今後も、様々な行事や授業を通して、学校と家庭との連携により、幅広い人権感覚を身につけた心豊かな児童の育成に努めていきます。

4 健康な生活 体力づくり・安全な登下校

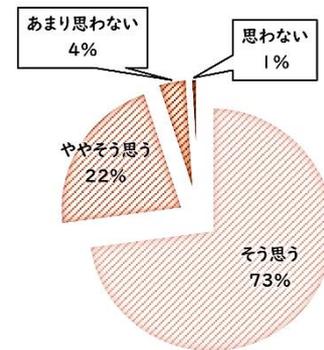
児童、保護者ともに9割以上が健康や体力作りについて肯定的な評価です。学校では、業間休みや昼休みに、運動場でドッジボールやサッカー、縄跳、一輪車、竹馬、鉄棒、登り棒、シーソー、滑り台やブランコなど様々な遊びを楽しむ児童の姿がたくさん見られます。また、保健委員会でやっている衛生検査などで自分の衛生面を意識することで、健康管理に主体的に取り組める児童も増えてきました。今後も、「早寝・早起き・朝ご飯」の徹底と学校での体育の授業・元気アップでの体力作りをご家庭との連携により継続していきます。

交通ルールはおおむね守れていますが、登下校（路上、電車・バス）でのマナーやルールについて、地域からご助言をいただくことが度々ありました。今年度保護者や地域の皆様とも協力して通学路安全マップを完成させ、危険個所や子ども110番の場所の周知を行いました。また、今年度から6年生を含めた安全な集団徒歩通学に取り組んでいます。それらを含めて、今年度の検証を行い、来年度も保護者や地域の皆様の協力をいただきながら、さらに児童の安全指導・命の教育の充実をはかっていきます。

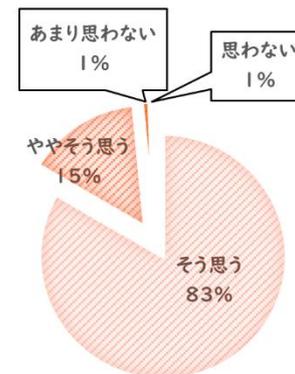
5 小中一貫教育の推進

5・4制による小中一貫教育を始めて11年目となります。小中教職員全員で小中一貫教育をより充実させるための取組について毎年話し合いを重ね、改善を図っております。児童の9割以上が「小中の合同行事やふれあい活動を通して成長している。」と肯定的に評価し小中一貫教育の良さを感じている一方、保護者の皆様には、具体的な成果を実感していただけていないことが課題だと感じております。そこで、今年度は縦割りふれあい講座をオープンスクールとし、河合小中の1～9年生と特別支援学校の児童生徒が関わり合いながら活動している様子を保護者の皆様にも見ていただきました。今後もさらに、中学校教師による専門的な教科指導や小中合同行事、5・4制を意識した学年・学校行事などで、小中一貫教育のねらいや活動内容、児童の成長の様子など、5・4制の小中一貫教育の良さを積極的に情報発信していきます。そして、小中特や地域の「つながり・かわり」を意識したより魅力ある教育活動をさらに工夫し実施していきます。

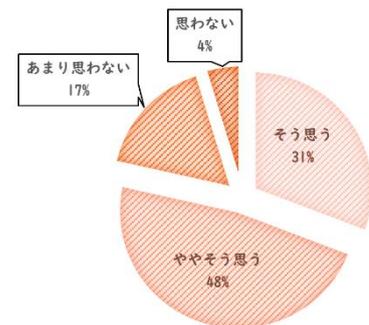
【問13】私は、しっかり食事をして、遊びや運動に取り組んでいる。(児童)



【問14】私は、交通ルールを守って安全に登下校したり、家では危険な遊びをしないように気をつけたりしている。(児童)



【問15】5・4制の小中一貫教育の取組について理解し、お子さんの成長に有効だと感じている。(保護者)

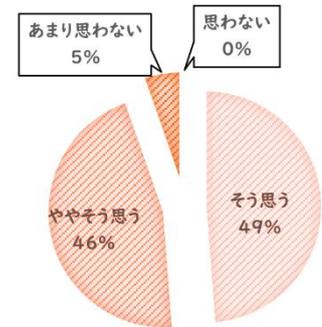


6 学校・家庭との連携

学校はHP、学校通信、学年通信、保健だより等で、日ごろの学校の様子をお伝えしています。今年度も、学校HPで行事等での児童の様子を即時かつ広汎にお知らせするよう努めました。保護者や地域の皆様と情報を共有することで、お子様の教育活動効果もより高まると考えます。

学校運営協議会委員や地域の見守り隊・民生委員の方々により、登下校や行事等に協力いただいています。今年度も、PTAの協力により、運動場の除草や側溝の土上げ、遊具のペンキ塗りなど学校施設の環境整備を行っていただきました。日常的にも図書室整備やウサギのお世話、大豆植えボランティアとして、保護者や地域の方々にご協力いただき、児童の教育活動が充実しています。

【問17】学校・学年・学級便りやHP・メール、連絡帳を通して、いろいろな情報や連絡を共有している。(保護者)



7 学校関係者評価結果 ご意見 ご感想

- 学校の中だけでなく、地域の中であいさつができる子どもを育てたい。
- 言葉遣いについて気になることが多い。ゲームやSNSの中で使われている言葉を当たり前のように使っている。正しいかどうかの判断をする前に何も考えずに使っているように感じる。それは大人も同じではないか。地域の良い言葉を学び、使ってはいけない言葉を考えさせる学習も必要だ。
- 昨年度から行っている「読書・お手伝い・ノーゲーム・コミュニケーションの日」の設定はとても良いことだと思う。読書は伴走者がいると続けやすい。読みたい場所だけを読む読書ビューフェにも取り組んではどうか。ぜひ、ご家庭で「読書の日」に取り組んでもらいたい。
- 小野市や加東市など近隣の図書館の利用もお勧めする。たくさん本を借りることができるし、図書館で静かに本を読む経験が読書習慣につながることもある。
- 親の姿勢や言葉かけ、大人の姿が子どもに与える影響は大きい。「勉強は楽しい」という言葉を幼少期から聴いて育った子どもは当たり前のように勉強を楽しむという話を聞いた。
- 小中一貫教育が11年目となり、保護者の間では現在の形が当たり前になっている。河合の地域性を踏まえながら、メリットとデメリットも含めて保護者への啓発が必要だ。9年間という発達段階をどう捉えて、5・4制のシステムに取り組んでいるのかも周知できればよいのではないかな。

保護者の皆様には、学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。今回、ご回答いただきました項目について学校内で検証を行いました。本校の児童は年々落ち着いた生活を送ることができており、それもご家庭や地域の方々に支えられているためであると、保護者の皆様のアンケート結果より改めて感じることができました。そして子どもたちのアンケート結果からも学校生活に前向きに取り組んでいる様子が見えてきました。一方で来年度に向けたご意見もたくさんいただきました。(主な自由記述の回答は2月号の学校だよりとともにお配りしました。)保護者の皆様や地域の皆様のご期待に添えますよう、教育活動の充実に向けて努力してまいります。今後とも本校教育にご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。